

保証書

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください

品名：インフォライフ
製品型番：YW9187
保証期間：お買い上げ日より1年間

お買い上げ日：

お客様ご住所：
お名前：
電話番号：

販売店住所：
店名：
電話番号：

販売店様へ
ご購入時に貴店にて、保証書の所定事項（お買い上げ日、貴店住所、貴店名など）をご記入の上、当製品をご購入いただいたお客様にお渡しいたします。

よくにさんぎょう
輸入・発売元：株式会社 芳国産業
電話番号：03-3843-7841（お客様相談室係）
郵便番号：111-0043
住所：東京都台東区駒形2-4-11

（受付時間：土・日・祝日・長期休暇期間を除く、平日午前10時～午後5時まで）

この商品に関するお問い合わせをいただく際は、商品名（インフォライフ）もしくは製品型番（YW9187）をお申し出いただくと、より円滑にご相談いただけます。

アフターサービス

- ▼取扱説明書内の「故障かな？と思ったら（裏面）」を確認しても直らない場合はお求めの販売店、もしくは弊社「お客様相談室係」までご相談ください。
- ▼保証期間中は保証書の無料保証規定に従って、無料修理いたします。当製品に保証書を添えてお求めの販売店もしくは、弊社「お客様相談室係」へお申し付けください。
- ▼保証期間経過後はお求めの販売店もしくは、弊社「お客様相談室係」で有料修理を承ります。
- ▼外装部品やその他の付属品についての修理、製品交換などには類似の代替品を使用する場合があります。

無料保証規定

- 本書は、本書記載内容で、無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
- 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、当製品と本書をご用意の上、お求めの販売店へご持参いただくか弊社「お客様相談室係」へご相談ください。
 - ご転居、ご贈答品などで、お求めの販売店に修理依頼出来ない場合には、弊社「お客様相談室係」へご相談ください。
 - 保証期間内でも、次のような場合には、有料修理となります。
 - a) ご使用上の誤りや不当な修理、改造による故障や損傷。
 - b) お買い上げ後の転倒や落下、輸送等による故障及び損傷。
 - c) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天変地変、公害や異常電圧、指定外の使用電源などによる故障や損傷。
 - d) 一般家庭以外（例えば業務用などの長時間使用など）でのご使用による故障や損傷。
 - e) 本書のご提示がない場合。
 - f) 本書にお客様名、お買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - g) ご使用上のキズ、変色、汚れなど。
 - h) 取扱説明書内の「**当製品の使用場所について**」に記載されているような場所でご使用されたり、保管をした場合。
- ※ 運賃、諸掛費用は基本的にお客様にてご負担いただきます。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This Warranty is valid only in Japan.
 - この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものではありません。この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 - お客様にご記入いただいた保証書個人情報は、修理・サービスに利用させていただきます場合がございます。
 - お買い上げ後、1年を超えてご使用されない製品をはじめてご使用される際に、万が一不具合があった場合は有料修理となります。

by LANDEX
TOKYO ASAKUSA 1955~

液晶画面が大きい電波掛時計

インフォライフ 商品名

取扱説明書（保証書付）

⚠ 当製品はガラスを使用いたしております。ガラスが破損する
△ 注意 とげが原因となりますので、取扱いに十分ご注意ください。



電池別売
単3電池
2本
アルカリ推奨

この度は当製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用いただきますよう、お願い申し上げます。なお、読み終わったあともお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

▼この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁止します。
▼当製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してはなんら責任を負いません。

生産国：中国

IM No. YW9187

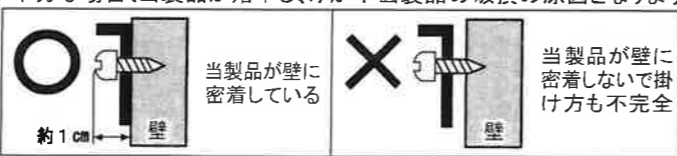
製品仕様

商品名：インフォライフ
製品型番：YW9187
使用環境温度：+5℃～+40℃
本体サイズ：320(幅)×320(高さ)×45(奥行)mm
本体重量：約952g(付属品を除く)
時間精度(常温中)：±1秒/月(標準電波の受信に成功した直後)±30秒/月(標準電波を受信していない場合)
自動受信：1日4回(午前3時、午前4時、午前5時、午前6時)
使用乾電池：単3型乾電池2本(アルカリ乾電池推奨)電池別売
電池寿命：約1年(アルカリ電池でのご使用いただいた場合、標準電波の受信状況、ご使用状況などにより前後いたします)
付属品：取扱説明書(保証書付)⇒本書
主な機能：
・オートカレンダー(2018年1月1日～2099年12月31日)
・標準電波受信・秒針停止機能(午後10時～翌日午前6時まで)
・温度計・湿度計・標準電波自動受信機能
温度計精度：±2℃(0℃以上、+40℃以下の場合)、±4℃(0℃未満、+40℃超の場合)
温度計表示範囲：-9℃～+60℃(-9℃未満は“LL”、+60℃超は“HH”と表示)。温度計表示範囲と当製品の使用環境温度は異なります
湿度計精度：±7%(湿度30%～80%かつ温度+20℃～+40℃において)その他の状況で±10%
湿度計表示範囲：20%～95%(20%未満は“LL”、95%超は“HH”と表示)

時計の掛け方、掛け金具について

⚠ 当製品を掛ける壁の材質・構造をよくご確認の上、当製品の重さ
△ 警告 に十分耐えることが出来る掛け金具を必ずお選びください。

【時計の掛け方】
当製品を掛けるときは、必ず垂直な壁に取り付け、上下左右に軽く動かして、確実に掛かっている状態であることを確認してください。掛け方が不十分な場合、当製品が落下し、けがや当製品の破損の原因となります。



電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。標準電波は国立研究開発法人情報通信研究機構が管理・運営しており、福島県「おおかたどや山-40kHz」と福岡県・佐賀県の県境「はがね山-60kHz」の2か所から送信されています。条件の良い時は送信所から1,200km離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・置き場所・時計の向き・地形・建物・時間帯などの影響で受信出来ない場合がございます。その場合はクォーツ時計としてこの取扱説明書の製品仕様に記載された精度(標準電波を受信していない場合)で作動します。

標準電波、標準電波の送信状況に関する詳しい情報は、以下のホームページをご覧ください。

＜国立研究開発法人情報通信研究機構＞
<https://jjy.nict.go.jp/>

▼標準電波の送信設備等の管理・維持の都合により、電波の送信が停止することがあります。
▼上記 URL は予告なく変更される場合があります。

電波時計の使用場所について

以下のような場所では、標準電波を受信出来ない場合があります。



●マンションやビルなどの地下



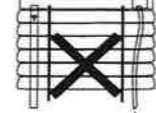
●高圧線、テレビ塔や電車の高架橋の近く



●電化製品やOA機器の近く



●自動車、電車、飛行機などの乗りものの中



●金属製の雨戸やブラインドの近く

- 工事現場、空港、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 金属製の家具の上など、電波を遮断する所。
- 周囲が山やビルなどに囲まれ、標準電波の入りが悪い所。

標準電波の受信について

標準電波の受信をしない場合

- ⇒ 電波発信局の方角に近い窓際に当製品を置いて、再度受信をお試しください。
- ⇒ 電池を一旦取り外して、夜間に電池をセットしなおし、窓際に置いて朝まで様子を見てください(夜間は昼間と比較して、標準電波の受信に成功しやすい傾向があります)。



標準電波を受信しにくい場合

電池をセットしたら、受信が完了するまで窓際に置いてください。



ご使用中に時刻が合わなくなってきた場合

受信していないか、電池が消耗している可能性があります。電池が消耗している場合は、新しい電池と交換し、窓際で再度受信をお試しください。

※上の写真は使用場所のイメージです。写真中の展示物は付属品ではありません。※当製品を窓際に置く場合、直射日光が当たるなどして高温になる場所でのご使用はお控えください。また当製品が雨などに濡れないようご注意ください。

安全上のご注意（必ず守ってください）

ここに示す内容は、商品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。ご使用前によくお読みの上、お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示内容を無視して、誤った使い方により生じる損害や危害の程度を区分する記号

⚠ 警告	人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性や、物的損害が生じる可能性を示しています。

必ずお守りいただく行為（強制）と禁止行為を区分する記号

⚠	必ず守らなければいけない行為（強制）を示す記号です。
⊘	絶対にしてはいけない禁止行為を示す記号です。

- ▼電池について
 - ⊘ 分解、ショート（短絡）などをしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。また、火中に入れる、強い衝撃を与えるなど、絶対にしてはいけません。
 - ⚠ 電池からもれた液が目に入った場合は、失明する恐れがありますのですぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。皮膚や衣類などに付着した場合にはきれいな水で洗い流してください。
 - ⚠ ・プラス(+)、マイナス(-)の方向を正しく入れてください。
 - ⚠ ・長時間使用しないときは、電池を必ずはずしてください。液もれにより当製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
 - ⊘ 電池に直接ハンダ付けをしたり、水で濡らしたりしないでください。液もれや破損などの恐れがあります。
 - ⚠ 電池を保管する際は高温・高湿な場所や直射日光が直接あたるところは避けてください。また、使用済みの電池はお住まいの地区自治体の廃棄方法に従って、速やかに廃棄してください。液もれや破損などの恐れがあります。
 - ⊘ 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。当製品が故障したり、不安定な動作などをすることがあります。
 - ⚠ 電池を交換するときは、種類の異なる電池を混ぜないでください。また、電池の交換をするときは、全て新しい電池にしてください。
 - ⚠ 電池の端子の汚れにより、当製品が使用できない場合があります。その際は乾燥したやわらかい布などで電池の端子を拭いて汚れをとってからご使用ください。

- ⊘ 電池に推奨使用期間が表示されている場合、期間を過ぎた電池のご使用はお控えください。液もれや破損などの原因になります。
- ⚠ 当製品が使用可能でも液もれなどを防ぐために、定期的に電池交換をしてください。
- ▼誤飲による事故防止について
 - ⊘ 電池や部品は幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合はすぐに医師の治療を受けてください。
- ▼梱包用袋について
 - ⊘ 梱包用の袋は絶対にかぶらないでください。また、幼児の手の届く所に置かないでください。
- ▼分解禁止について
 - ⊘ 当製品を分解したり、改造しないでください。故障の原因になります。
- ▼液晶パネルについて
 - ⊘ 液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には触れずに十分注意してください。皮膚に付着した場合、付着物をよく拭き取り、水で流し綺麗で洗浄してください。目に入った場合はきれいな水でよく洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。飲み込んだ場合は大量の水を飲んで吐き出し、直ちに医師の診断を受けてください。

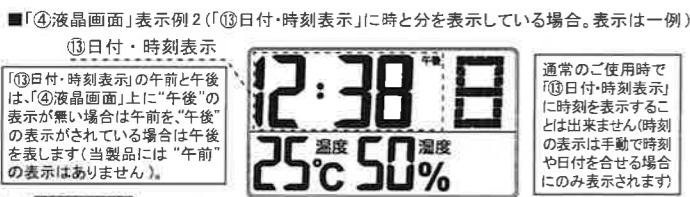
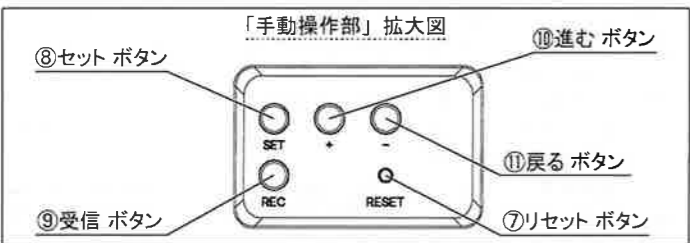
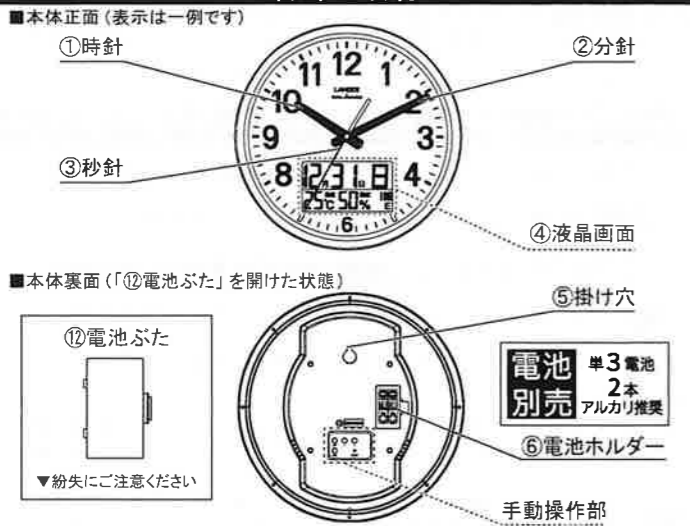
当製品の使用場所について

- 下記のような所では使用や保管をしないでください。
- ・温度が+40℃を超える所。例えば、直射日光や暖房器具の熱風が当たる所、火気に近い所や屋外など。
 - ・温度が+5℃より下になる所。
 - ・ほこりや塵が多い所。
 - ・湿気が多い所(加湿器の蒸気があたる所など)、水が直接掛かる所(当製品は防水ではありません)。
 - ・強い磁気のある所、激しい振動のある所。
 - ・多くの油を使用する所。
 - ・当製品が倒れたり、落ちたりしそうな不安定な所。
 - ・ビニール系素材の敷物の上や壁など(敷物や壁、当製品が汚れたり、傷んだりすることがあります)。
 - ・幼児の手が届く所。
 - ・防虫剤やアロマランプなどのすぐそば。
 - ・ガスなどの発生するおそれがある所(プール、温泉浴場など)。
 - ・塩害が想定される所。
 - ・電磁調理器の上やそのかたわらなど。

当製品、電池、梱包材などの廃棄

- ▼お住まいの地区自治体の廃棄方法に従ってください。
- ▼当製品、電池、梱包材などは分別して廃棄してください。

各部の名称

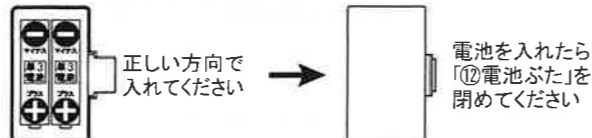


- 「各部の名称」について
- ①時針 時刻の“時”を示す針です。
 - ②分針 時計の“分”を示す針です。
 - ③秒針 時刻の“秒”を示す針です。
 - ④液晶画面 日付や時刻、温度や湿度、標準電波の受信状況が表示される画面です。
 - ⑤掛け穴 当製品を壁に掛けるときに掛け金具を使用して固定する場所です。「時計の掛け方、掛け金具について(裏面)」をよくご参照のうえ、安全にご使用ください。
 - ⑥電池ホルダー 電池を入れる場所です。
 - ⑦リセットボタン 1回押すと初期状態に戻ります。
 - ⑧セットボタン 手動で日付や時刻を設定するときに使用するボタンです。
 - ⑨受信ボタン 任意のタイミングで、標準電波の受信を行うためのボタンです。
 - ⑩進むボタン 日付や時刻を設定するときに日付や時刻などの情報を進めるためのボタンです。
 - ⑪戻るボタン 日付や時刻を設定するときに日付や時刻などの情報を戻すためのボタンです。
 - ⑫電池ぶた 電池の脱落などを防ぐためのふたです。
 - ⑬日付・時刻表示 日付もしくは時刻を表示する部分です。通常ご使用する際は日付(月、日)を表示します(時刻表示にすることは出来ません)。
 - ⑭温度・湿度表示 当製品周辺の温度、湿度を表示する部分です。
 - ⑮曜日表示 曜日表示 (当製品で曜日だけを任意に設定することは出来ません)。
 - ⑯受信マーク 標準電波の受信状況などを確認するための表示です。

⑰受信局表示 標準電波を受信した際にE(福島長波局:40kHz)もしくはW(九州長波局:60kHz)のいずれかを表示する部分です。

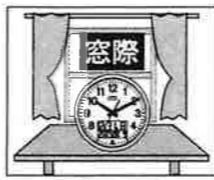
ご使用方法

【1】電池(別売)を入れて、標準電波の受信をはじめる
「⑫電池ぶた」を取り外した状態で、単3型乾電池2本のプラス(+)、マイナス(-)をよく確認し、「⑥電池ホルダー」に正しい方向で入れてください。絶縁シートなどが付いている場合はそれらを取り外してからご使用ください。電池を入れたら必ず「⑫電池ぶた」を開けてください。



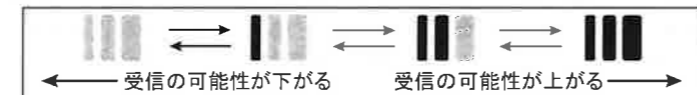
- ▼電池交換の際はアルカリ単3乾電池をおすすめいたします。
- ▼充電電池は充電された状態であっても電圧が低く、当製品が正常に動作しない場合がありますので、ご使用しないでください。
- ▼一部の高性能電池は初期電圧が高いため、当製品の使用に不向きな場合があります。
- ▼電池のプラス(+)、マイナス(-)を間違えた方向にし、放置しないでください。当製品の故障、電池の発熱、液もれなどの原因となります。

【2】標準電波の受信をはじめる
単3電池2本を「⑥電池ホルダー」に入ると「①時針」、「②分針」、「③秒針」が自動的に動きはじめ、12時の位置で停止して、標準電波の受信を開始いたします。受信が終了するまで当製品を窓際などの比較的受信しやすい場所に置いてください(受信中は当製品を動かさないでください)。



- ▼標準電波を正しく受信するために、取扱説明書内の「電波時計の使用場所について(裏面)」および「標準電波の受信について(裏面)」をご参照ください。
- ▼受信中はボタン操作などをしないでください。ボタン操作などにより、受信精度が低下する場合があります。

【3】標準電波の受信状況を確認する
標準電波の受信中は「⑯受信マーク」全体もしくはその一部が表示か非表示かを繰り返すことで受信状況を確認する目安となります。



【4】標準電波の受信結果を確認する
⇒○標準電波を正しく受信した場合
標準電波を正しく受信した場合、「⑯受信マーク」が表示された状態になります。「①時針」、「②分針」、「③秒針」は自動的に動き、現在時刻を指します。「①時針」、「②分針」、「③秒針」が現在時刻を指すと、「⑬日付・時刻表示」に正しい月、日が、「⑮曜日表示」には正しい曜日がそれぞれ自動的に表示されます。



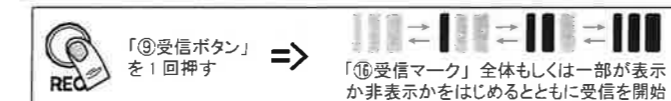
⇒×標準電波の受信に失敗した場合
標準電波の受信に失敗すると、「⑯受信マーク」および「⑰受信局表示」には何も表示がされず「①時針」、「②分針」、「③秒針」は正しい時刻を指しません。「⑬日付・時刻表示」および「⑮曜日表示」には正しい日付や曜日が表示されません。



はじめてご使用になれる時や、「⑦リセット」を押して受信する際は「①時針」、「②分針」、「③秒針」が12時00分00秒の位置に停止してから受信が開始されます。この状態で受信に失敗すると12時00分00秒から「③秒針」が動きはじめます。

▼1回の受信に要する時間は約3分から約12分です。この間に受信しない場合は取扱説明書内の「【5】標準電波を受信出来なかった場合」をご参照ください。

【5】標準電波を受信出来なかった場合
1. 手動操作で受信をさせる
手動操作で時刻や日付を合わせる状態でない時に「⑨受信ボタン」を1回押すと「⑯受信マーク」全体もしくは一部が表示か非表示かを始めるとともに標準電波の受信を開始いたします。受信結果については「【4】標準電波の受信結果を確認する」をご参照ください(ただし手動操作での受信中は「①時針」、「②分針」、「③秒針」は作動して時を刻み続け、12時の位置には戻りません)。



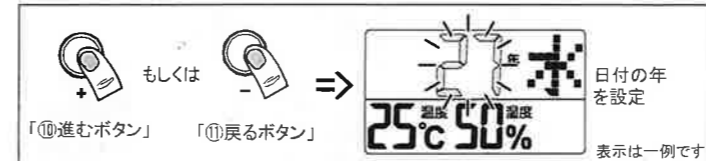
2. 場所をかえて、再度受信させる
取扱説明書内の「電波時計の使用場所について(裏面)」および「標準電波の受信について(裏面)」を確認し、受信しやすい場所に当製品を移して、再度受信をお試しください(夜間は昼間と比較して標準電波を受信しやすい傾向があります。受信しない場合は夜間に受信しやすい窓際に電池をセットして、一昼夜様子を見てください)。

3. 手動操作で時刻や日付を合わせる
標準電波を受信出来なかった場合、以下の手順で日付や時刻を手動操作で合わせることも可能です。尚、「⑬日付・時刻表示」の時刻を手動で設定することで「①時針」、「②分針」、は手動で設定された時刻を自動的に指し示します。

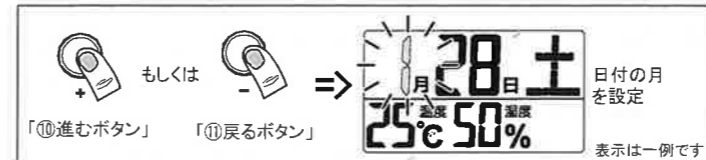
【設定例: 2027年1月10日 日曜日 午前10時38分】
(手順1) 手動操作で時刻や日付を合わせる状態にする
標準電波の受信中でない状態で「⑧セットボタン」を長押し(約3秒)すると「⑬日付・時刻表示」に日付の年が点滅表示されます。



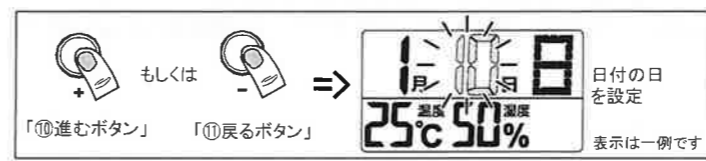
▼当製品の年表示は西暦年の下二桁をあらわしております。
(手順2) 日付の年を合わせる
「⑩進むボタン」もしくは「⑪戻るボタン」を操作して、日付の年を合わせます。年を合わせ終えたら、「⑧セットボタン」を1回押すと「⑬日付・時刻表示」に日付の月が点滅表示されます。



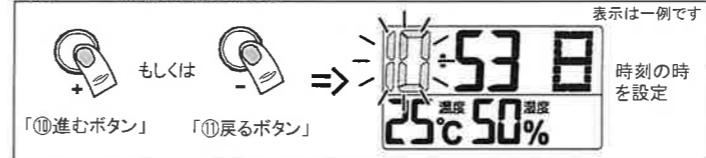
(手順3) 日付の月を合わせる
「⑩進むボタン」もしくは「⑪戻るボタン」を操作して、日付の月を合わせます。月を合わせ終えたら、「⑧セットボタン」を1回押すと「⑬日付・時刻表示」に日付の日が点滅表示されます。



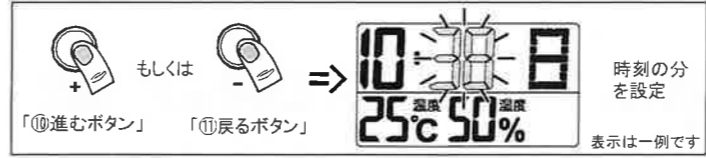
(手順4) 日付の日を合わせる
「⑩進むボタン」もしくは「⑪戻るボタン」を操作して、日付の日を合わせます。日を合わせ終えたら、「⑧セットボタン」を1回押すと「⑬日付・時刻表示」に時刻の時が点滅表示されます。



(手順5) 時刻の時を合わせる
「⑩進むボタン」もしくは「⑪戻るボタン」を操作して、時刻の時を合わせます。時を合わせ終えたら、「⑧セットボタン」を1回押すと「⑬日付・時刻表示」に時刻の分が点滅表示されます。



▼「⑬日付・時刻表示」の時刻表示には午前の表示はありません。
(手順6) 時刻の分を合わせる
「⑩進むボタン」もしくは「⑪戻るボタン」を操作して、時刻の分を合わせます。分を合わせ終えたら、「⑧セットボタン」を1回押すと「⑬日付・時刻表示」に設定された日付(月と日)が、「⑮曜日表示」には曜日がそれぞれ表示されて時刻と日付を設定する状態は終了いたします(「④液晶画面」上に点滅する箇所が無くなります)。



- ▼時刻や日付の設定中に「⑩進むボタン」を1回押すと、時刻や日付が1つ進み、長押し(約2秒)すると早送り進みます。「⑪戻るボタン」を1回押すと、時刻や日付が1つ戻り、長押し(約2秒)すると早送り戻ります。
- ▼手動で時刻や日付を設定中に何も操作をしない状態が約30秒間続くと、設定状態が自動的に解除されます。
- ▼手動操作で時刻を設定すると、「①時針」、「②分針」は設定された時刻を自動で指し示します。
- ▼手動操作で時刻を設定する際に「⑬日付・時刻表示」に表示される時刻の2分以内の時刻に戻す設定をした場合、「⑧セットボタン」や「⑨受信ボタン」が数分間操作出来ない場合があります(数分後に自動で復帰いたします)。
- ▼時刻の分を設定する際に「⑩進むボタン」もしくは「⑪戻るボタン」を押した段階で当製品の時計内部では秒数がゼロ秒になります。タイミングよく操作することで手動操作により、時刻の秒まで合わせる事が出来ます。

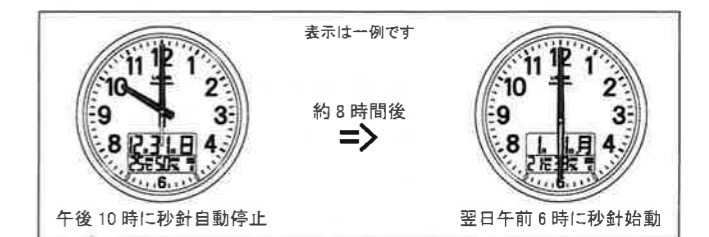
その他の機能

【1】温度・湿度表示
当製品の周辺温度・湿度を内部センサーで測定し、「⑭温度・湿度表示」に表示します。はじめてご使用になられるときや、当製品を温度・湿度変化が大きい環境に移したときなどは周辺温度・湿度を正しく測定および表示するのに時間を要する場合があります。



- ▼当製品は業務用ではありませんので、厳密な温度・湿度管理が必要とされるような目的でのご使用は絶対にして下さい。
- ▼当製品は室内用です。屋外での使用(ビニールハウスなどを含む)は絶対にして下さい。

【2】秒針停止機能
当製品は午後10時から翌日の午前6時まで自動的に秒針が停止する秒針停止機能がついております。秒針停止中でも「①時針」、「②分針」は作動を続け時を刻みます。

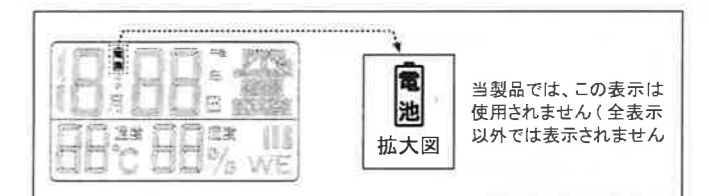


- ▼秒針が停止することで、電池の使用量を削減するための機能です。
- ▼秒針停止機能を解除することは出来ません。

【3】標準電波の自動受信機能
当製品は自動的に標準電波の受信を行う時刻があらかじめ設定されております。自動受信で標準電波を正しく受信すると、時刻が自動的に補正される機能です。▼当製品の自動受信は1日4回(午前3時、午前4時、午前5時、午前6時)となっております。▼自動受信機能を解除することや、自動受信が開始される時刻の変更をすることは出来ません。

当製品の「④液晶画面」について

当製品の「④液晶画面」の全表示の状態において、以下の表示が確認出来ますが、当製品では使用されません。



故障かな?と思ったら

- ⇒(症状)「④液晶画面」の表示が薄くなった (対処) 電池の消耗が考えられます。新しい電池と交換してください。
- ⇒(症状)「④液晶画面」の表示が乱れる。(対処) 静電気による誤動作が考えられます。「⑦リセットボタン」を押して様子を見てください。
- ⇒(症状) 使用中に時間がずれてきた (対処) 標準電波の自動受信に失敗している可能性があります。場所を変えて受信をお試しください。
- ⇒(症状) 標準電波の受信をしない (対処) 標準電波を受信しにくい環境下にあることが予想されます。取扱説明書内の「電波時計の使用場所について(裏面)」および「標準電波の受信について(裏面)」をご確認いただき、受信しやすい環境で、再度お試しください。
- ⇒(症状)「③秒針」が停止している (対処) 当製品は午後10時から翌日午前6時まで「③秒針」が停止する秒針停止機能がついております。

お手入れのしかた

ケースなどを拭くときはシンナー・ベンジン・スプレー式クリーナーなどは使用しないでください。汚れがひどいときは石鹸水または水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に浸してよく絞ってから拭き、乾いたあとに乾燥した布で拭いてください。また殺虫剤、防虫剤やヘアースプレーなどもかからないようにしてください。

- ▼製品仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。
- ▼印刷による制限のため、この取扱説明書の図が実際の製品と異なる場合があります。